

公明党京都市会議員団ニュース

京都のミカタ

ミカタとは、市民の見方、くらしの味方という意味を表しています

No.23 2020年
2月発行

発行人兼編集人/湯浅光彦

〒604-8571 京都市中京区
寺町御池上る上本能寺前町488番地
TEL: 075-222-3732
FAX: 075-212-3608

公明党京都市会

検索



横浜市多文化共生総合相談センター視察

多文化共生 社会の実現へ!



京都市国際交流会館 (kokoka)

京都市では、市民と外国籍住民がいつでも立ち寄れいつでも帰って来られる場として施設を広く開放し、情報提供・相談、ことばのサポート、他団体との連携等、多彩な取り組みを行う拠点として「京都市国際交流会館」(京都市左京区粟田口鳥居町)(運営:公益財団法人京都市国際交流協会)を設置しています。

国際都市・京都として、誰もが安心して暮らせる共生社会「多様な価値観と文化」を尊重し合う地域社会の構築を目指し「外国人との共生」について政策研究を進めてきました。

京都市への主な提言は①日本語・日本文化教育の充実。②日本人とのコミュニケーション支援、情報提供体制の充実。③外国人の相談体制の整備・充実。多文化共生推進体制の整備、など。

互いの多様性を大切にしたい、互いの尊厳を共に守り抜く「多文化共生社会」の実現にむけた施策の取り組みを進めてまいります。



川口市芝園団地視察

お知らせ

2月定例議会が開会中
(2月20日~3月25日)

本会議代表質疑は2月27日、2月28日に行われ、公明党からは湯浅光彦議員(右京区)、曾我修議員(伏見区)、平山よしかず議員(西京区)、の3名が2月28日、10時頃から登壇します。(KBS京都で生放送の予定です。)



湯浅 光彦 議員「右京区」

就職氷河期世代に
対する就労支援について

望まない非正規雇用者が京都市内で5000人との調査もあり、しっかりと国のメニューを十分に吟味すると共に、SNSを活用するなど当事者に情報が伝わる工夫を凝らし、就職氷河期世代の支援に取り組みべきと要望しました。これに対し門川市長は「1内に、専門相談窓口を新たに開設し、一人ひとりに寄り添ったカウンセリ...



京都市わかもの就職支援センター

LGBTにおける
パートナーシップ公認
制度の創設について

世界文化自由都市宣言を都市の理念に掲げる京都市として他都市の事例を参考としつつも京都市

画する「京都労働経済活力会議」において就職氷河期世代対策を新たな議題としてとりあげオール京都で支援に取り組むと意欲を見せました。

湯浅光彦議員のおもな質問項目

- 産業連関表を活用した施策について
- 就職氷河期世代に対する就労支援について
- LGBTにおけるパートナーシップ公認制度の創設について
- 歯科医療について
- 区役所窓口サービスの向上及びマイナンバーカードの普及促進について

ならではのパートナーシップ公認制度を市長のリーダーシップのもと創設を提案。市長は指定都市市長会として国に対し「パートナーシップ制度」を含めた性的少数者への取組の強化方針を示す事を要請しており、京都市としても「人権文化推進計画」の見直しにあたり、専門意見聴取会を設置し、検討していくと述べました。

市民生活の向上へ

代表質問

京都市会本会議の代表質問で公明党京都市議員団は市民生活の向上のため、京都市政について質問と提言を行いました。令和元年度9月議会では湯浅光彦議員(右京区)、大道義知議員(南区)、かわしま優子議員(伏見区)が、令和元年度11月議会では吉田孝雄議員(伏見区)、国本友利議員(左京区)が質問に立ちました。

動物愛護について

動物愛護管理法改正の趣旨を踏まえ、多頭飼育問題・ノラ猫や野犬対策・動物虐待等の課題に対応した取り組みの必要性と、制定後5年を経過するマナー条例の検証と見直しを求めました。



大道 義知 議員「南区」

夜間中学について

不登校が原因の学び直しや、日本で働く外国籍の方の日本語教育など、教育機会の場として注目を集めている府内唯一の「夜間中学」の入学要件の緩和等



夜間部を併設する京都市立洛友中学校

「誰一人取り残さない」とのSDGsの理念を踏まえ、たさらなる取り組みを求めました。市長は府市協調により前向きに検討をした結果、令和2年度入学者より京都市内に勤務する方も入学が可能にしていくと答弁しました。

京都駅東南部エリア
のまちづくりについて

文化庁の京都移転と京都市立芸大の移転に併せ、文化を基軸とした「若者と芸術のまちづくり」を進める京都駅東南部エリアについて、この地域を核と

断らない相談窓口の
設置について

ひきこもり等の多様化する困りごとへの支援として、どんな相談も受けて必要な支援につなぐ窓口を、市民に一番身近な区役所に設置し、「つなぐシート」等を活用し、各課が連携して横断的に相談に応じる仕組みを構築すべくと訴えました。これに対して、ひきこもりの問題を



かわしま 優子 議員「伏見区」

中心に、市社会福祉審議会に専門分科会を設置して議論するとし、その結果も踏まえ、分野横断的な支援体制を強化すると答弁がありました。

スペシャルオリンピックス
の振興について

知的障がいのある人の自立や、社会参加を目的とするスペシャルオリンピックス。多くのボランティアの皆様の協力の下、障が



スペシャルオリンピックス・フロアホッケープログラム

いのある方とない方がスポーツを通じて共に成長し、お互いの理解を深めるために、周知を広げるなど支援のあり方について質問。市長は、スペシャルオリンピックスの理念や活動を広く市民の皆様を知っていただけるよう、周

かわしま優子議員のおもな質問項目

- 困りごとへの支援について
- 障がい者スポーツの振興について
- 伏見区内の環境学習施設の連携と今後の取り組みについて
- 伏見区における観光振興について
- 災害時のマイタイムラインについて

大道義知議員のおもな質問項目

- 動物愛護について
- 夜間中学について
- 学校給食費の公会計化について
- 京都駅東南部エリアのまちづくりについて

して展開される芸術戦略(アートマネジメント)を含めた地元地域住民も参画する協働組織の創設を訴えました。市長は地域の意向を尊重しつつ、文化芸術関係者や地域住民・団体等で構成するエリアマネジメント組織を立ち上げる意向を表明しました。



よしだ たかお
吉田孝雄 議員「伏見区」

生活困窮家庭の子どもの学習支援について

吉田孝雄議員は、真の「共生社会」に向けた価値を創造する政策を推進するとの決意を込め、生活



ユースシンポジウム2019 (10月下旬京区にて開催)

困窮家庭の子どもの学習支援事業の充実を訴え、ボランティア人材の育成と拡大、学校や福祉施策の現場との連携強化を求めました。市長は、地域や団体との連携を深め「気づき」「つなぎ」を機能強化すると答弁しました。

高齢者など交通弱者の移動支援について

桃山地域の高齢者が駅まで歩く時間が倍増し困っている点を取り上げ、現

在運行しているバスの経路変更を要望するとともに、高齢者が介護施設の送迎車両に乗って買い物や医療機関などに立ち寄ることができる移動支援のビジョンを提案。副市長は来年度策定の「第8次長寿すこやかプラン」に導入を検討すると表明しました。

多文化共生社会に向けた日本語教育について

横浜市など他都市調査や識者との意見交換を受け、多文化共生施策の第一歩として外国人への日本

語教育の重要性を指摘。地域に根付いた日本語教室運営への支援と、担い手の育成を拡充すべきと論じ、副市長はボランティアへの支援とネットワーキングを確約しました。

吉田孝雄議員のおもな質問項目

- 門川市政3期12年の総括と今後の展望について
- 生活困窮家庭の子どもの学習支援について
- 高齢者など交通弱者の移動支援について
- 多文化共生社会に向けた日本語教育について



くにもと ともとし
国本友利 議員「左京区」

観光政策について

京都市への外国人観光客が大幅に増加している傾向の中、観光消費額は1兆3082億円と過去最高を達成し、今後も期待できると言及した上で、市民生活に影響のある観光客による混雑対策やマナー違反、宿泊施設急増などのオーバートリズムに対する対応について質問しました。門川市長

は市民生活を最重要視した上で、混雑対策や観光客のマナー違反、宿泊施設の急増に伴う課題への対策について50の事業を全力で取り組み、観光課題解決の先進都市のモデルとなるよう取り組むと答弁しました。

防災教育について

近年、大規模地震や大雨、台風による風水害が全国的に多発する中、子

どもたちに対する防災教育は極めて重要であると指摘した上で、現在、左京区の養徳小学校などで先進的に行われているセーフスクール推進事業や学校安全総合支援事業などの防災教育を全小中学校へと展開していくことを提言しました。教育長は

近年、自然災害が多発する中、子どもたちが災害の際、自分で考え行動する力を養う事は極めて大切であるとの認識を示し、セーフスクール事業などの防災教育についてモデル校を拠点として、全市展開を図ると答えました。



実践的避難訓練の様子

国本友利議員のおもな質問項目

- 観光政策について
- 建設土木事業者の担い手確保について
- 防災教育について

京都市トピックス!!

1 環境学習施設「さすてな京都」がオープン

南部クリーンセンター(伏見区)内に環境学習施設「さすてな京都」がオープンしました。ゴミ処理施設そのものを活用し、焼却炉やゴミ発電、バイオガス化施設などを生きた教材として、世界最先端の環境技術が学べる施設です。

展望台からは、京都の街が展望でき、タブレット端末を使って、京都の自然や歴史・文化を学べます。

子どもから大人まで興味や好奇心を持って楽しめる「さすてな京都」。ぜひ、学習にしてみてください。

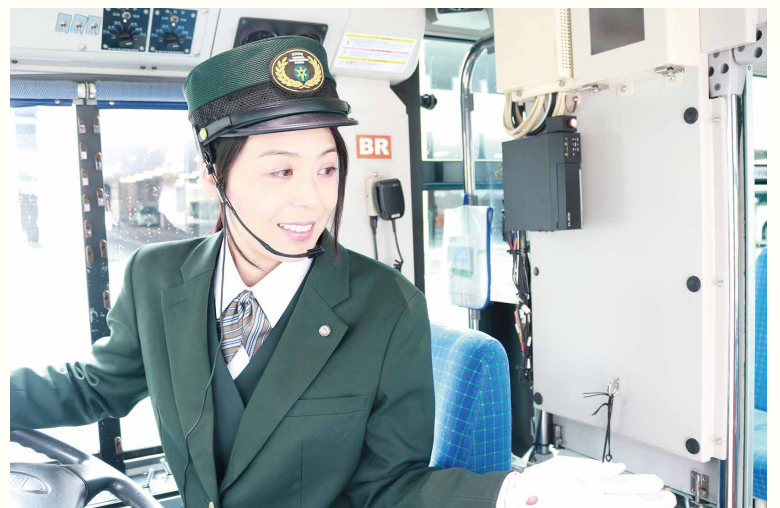


2 市バス事業における運転士の女性活躍を推進

京都市は、公営で初めて女性運転手が生まれたまち。

今、市バスの運転手が不足している中で、女性運転手の活躍を推進するため、ハード・ソフトの両面から働きやすい職場環境の整備が進められています。

今年度には、女性の採用説明会が行われるなど、女性活躍に向けて充実が図られています。





防災・減災対策強化、一人に寄り添う福祉の充実 予算要望を提出

公明党京都市議員団は令和元年11月29日、「令和2年度京都市予算に対する要望」を門川大作市長へ提出しました。

市民の生命を守るとの強い決意から、災害時のマイタイムライン(私の災害時対応)強化、液体ミルクの災害備蓄などをはじめ防災・減災対策の強化や、認知症対策の充実、妊娠期から出産・子育ての切れ目無い支援、児童虐待防止強化、就職氷河期世代への支援、高齢者の居宅確保など、公明党のネットワークで国・府と連携して進めている福祉施策の更なる充実を求めました。更にマイナンバーカード・交通ICカードの活用による行政サービス向上も要望しました。京都市の厳しい財政状況に鑑み、思い切った市事業のスクラップアンドビルドに踏み込むべきとも提言しています。

門川市長から「小さな声を聴く力によってまとめられた大切な要望。予算へ最大限生かしていく」と回答をいただきました。

議員団一丸となって要望実現へ取り組んでまいります。



公明党京都市議員団の顔ぶれ

①期数 ②委員会

左京区
くにもと ともとし
国本 友利
①3期
②まちづくり委員会
TEL : 080-9804-7802



中京区
あおの ひとし
青野 仁志
①3期
②産業交通水道委員会
TEL : 090-8369-9953



北区
ひょうどう
兵藤 しんいち
①1期
②総務消防委員会
TEL : 075-231-7407



山科区
まつだ こ
松田 けい子
①1期
②教育福祉委員会
TEL : 075-582-5200



南区
だいどう よしとも
大道 義知
①8期
②教育福祉委員会
TEL : 075-921-3172



右京区
ゆあさ みつひこ
湯浅 光彦
①5期
②文化環境委員会
TEL : 075-873-2501



西京区
ひらやま
平山 よしかず
①4期
②産業交通水道委員会
TEL : 075-393-8806



伏見区
そが おさむ
曾我 修
①5期
②総務消防委員会
TEL : 090-8934-4643



伏見区
よしだ たかお
吉田 孝雄
①4期
②文化環境委員会
TEL : 080-9804-7801



伏見区
かわしま ゆうこ
かわしま 優子
①2期
②まちづくり委員会
TEL : 075-634-7178



京都いつでもコール
市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。
午前8時～午後9時(年中無休)

●TEL:075(661)3755 ●FAX:075(661)5855

●電子メール(以下のホームページから)

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html> 左記の二次元コードから
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/> 携帯電話でアクセスできます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを
公明党京都市議員団にお寄せください

●TEL:075(222)3732
●FAX:075(212)3608
●電子メール: komei@lime.ocn.ne.jp
●ホームページ: [公明党京都市会](#)

